

かめだより

発行：医療法人鉄蕉会 亀田総合病院/地域医療支援部・地域医療連携室
発行責任者：亀田俊明 編集責任者：蔵本浩一

〒296-8602 千葉県鴨川市東町929

TEL：04-7099-1261(内線7156)



index

P2 … 地域医療を担う専門性を活かした
質の高い医療・介護の紹介 (シリーズ8)
診療看護師って何? 医療の新たなパートナーを知ろう

トピックス

P3 … 地域医療機関さまより
たかはし内科小児科クリニック

P4 … 当院診療科より
眼科

P5 … 亀田総合病院の災害への取り組み
地域・他業種との連携

P6 … Kameda Cup2024 in Kamogawa
スタッフひろば

08 診療看護師って何？ 医療の新たなパートナーを知ろう

高度臨床専門職センター 土屋 忠則

診療看護師(NP：Nurse Practitioner 以下NPと記す)とは、患者さまのQOL向上のために、医師や多職種と連携・協働し、倫理的かつ科学的根拠に基づき一定レベルの診療を行うことができる看護師を指しています。認定看護師・専門看護師・特定行為研修を修了した看護師と同様に、高度で専門的な知識・スキルに基づいて実践を行う「看護師」です。

2040年に向けて高齢化率が増加の一途をたどるなか、高度な知識・スキルを持つNPは、医療のニーズにより迅速な対応が可能であり、国民の安心・安全な生活に寄与できると考えられています。具体的には、患者さま、利用者さまの状態をアセスメントし、想定されなかった変化にも対応することができ、医師の手順書をもとに、特定行為を含めたタイムリーな質の高い看護を実践することなどが挙げられます。

NPになるためには、看護師として5年以上の実務経験を有し、かつ大学院修士課程を修了してNP資格認定試験に合格する必要があります。

2024年4月現在、872名がNP資格者として認定されています。当院には、2019年からNP卒後研修制度

が始まり、現在7名のスタッフが勤務しています。1年間の卒後研修を終えると、高度臨床専門職センターに配属され、診療科で活動します。現在、活動している診療科は、救命救急科、在宅診療科、集中治療科、腎臓高血圧内科、総合内科です。私は、在宅診療科で活動し、3年目となりました。主な業務としては医師に同行し、訪問診療を行います。診療の中で必要と判断した検査のオーダーや、定期処方^のの継続など代行で実施します。身体に装着している気管カニューレや胃瘻カテーテル等の医療デバイス交換や、訪問看護指示書作成なども実施しています。

神経難病でいよいよ人工呼吸器等管理が必要になり、自宅療養を希望した場合、入院中からベッドサイドへ何度も足を運び、療養環境調整やケア調整などの自宅療養へ向けたケア移行を実践しています。本人や家族を中心に多職種で関わることで、シームレスなケア移行と、安心・安全を確保した自宅療養を目指しています。

ご質問やご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

■第12回房総がんケアフォーラム

- 【演題】看取る人の納得と逝く人の覚悟
- 【講師】岡部医院仙台 山室誠先生
- 【日時】2024年11月2日(土) 13:30~16:00
- 【会場】亀田総合病院 Kタワー13階
ホライゾンホール
- 【対象者】どなたでもご参加いただけます
- 【申込】QRコードよりお申し込みください
- 【締切】2024年10月26日(土)



■2024年度がん看護基礎コース研修

- 【日時】1日目：2024年11月30日(土) 8:15~17:30
2日目：2024年12月7日(土) 8:15~17:30
- 【会場】亀田総合病院 B棟7階看護部研修室
- 【対象者】がん看護に興味がある看護師、もしくは他職種(経験年数1年目でも可)
- ※アンケートに協力できる方。2日間参加できる方に限らせていただきます
- 【申込】QRコードよりお申し込みください
- 【締切】2024年11月15日(金)



■亀田医療大学・亀田総合病院 市民公開講座

- 【会場】亀田医療大学 ミズキホール
- 【対象者】どなたでもご参加いただけます 当日会場へお越しください
- 【日時・演題】敬称略
- 1日目：2024年12月21日(土) 13:30~15:30
 - ①がん予防と早期発見
亀田総合病院 腫瘍内科部長 大山優
 - ②家族ががんになったとき：診断期編
亀田医療大学 看護学部看護学科 成人看護学領域 教授 岡本明美
- 2日目：2025年1月18日(土) 13:30~15:30
 - ①がん治療 放射線治療
亀田総合病院 放射線科部長 放射線治療センター長 庄司一真
 - ②家族ががんになったとき：治療期編
亀田医療大学 看護学部看護学科 成人看護学領域 教授 岡本明美
- 3日目：2025年2月22日(土) 13:30~15:30
 - ①乳がんの予防と早期発見
亀田総合病院 乳腺科主任部長 福岡英祐
 - ②リンパ浮腫の予防とケア
亀田医療大学 看護学部看護学科 成人看護学領域 准教授 千葉恵子

参加ご希望の方はそれぞれの締切までにお申し込みください。



地域医療機関さまより



たかはし内科小児科クリニック



▲前列:左 高橋宏院長・右 高橋悠乃医師・後列:スタッフ



▲外観



待合室▶

当院は2018年10月に館山市北条で新規開業しました。内科・循環器科と小児科の二診体制で診療をしています。簡単に自己紹介をさせていただきます。

《内科・循環器科 高橋 宏》

私は館山第三中学校、安房高校を卒業し、日本大学医学部に入学しました。東京都板橋区で6年間を過ごし、“都心の病院で働きたい”という理由で、卒業後は御茶ノ水にある駿河台日大病院(現日本大学病院)の循環器科に入局しました。入局後はカテーテル班に所属し主に虚血性心疾患の患者さんの診療に従事しました。

循環器疾患はいわゆる一病息災で、急性期を乗り越え適切な治療が導入された後は長生きされる方が多いと思います。その間に他科領域の疾患が見つかるなど、いろいろな相談を受けながら生涯のお付き合いになる

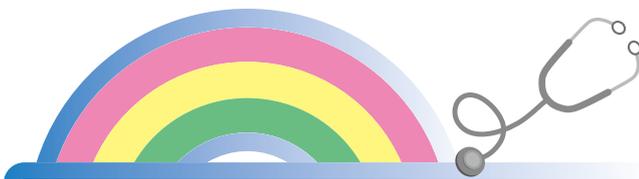
ことが多いと感じています。今後は安房地域の医療のワンピースを埋められるように、責任を持って日々の診療に取り組んでいきたいと思っています。大学病院ではカテーテルで冠動脈血流を測定し、女性の微小血管狭心症の診断にも取り組んでいました。この経験を活かし今後は女性の胸痛患者さんの診療にも力を入れていきたいと思っています。

《小児科 高橋 悠乃》

私の地元、福岡県久留米市は医師の人口密度が日本一の街です。市内に大学病院とヘリポートを有する聖マリア病院という総合病院があり、大変恵まれた環境で研修医～専門医時代を過ごしました。小児科専門医取得後にサブスペシャリティとして腎臓専門医をとりましたが、今はほとんど腎疾患の子を見る機会はありません。現在は一般診療に加え、アレルギーやアトピー・喘息、育児不安や便秘など、全人的な医療を必要とされていると実感します。自身も子育て中ですから、保護者の何気ない不安に寄り添いながら一緒に子育て、親育てをさせていただいております。開業医としての強みを生かし、できるだけ丁寧に説明をし、不要な夜間救急受診を減らし本当に必要な患者さんに必要な医療を提供してもらえるように、わずかですがその一端を担っていきたくております。

今後は予防医学にさらに力を入れていきたいと思っています。具体的には分子栄養学の導入や、予防接種、乳児検診の推進です。SVS(スポットビジョンスクリーナー)での弱視のスクリーニングや、指先からわずかな採血でのアレルギー検査など患者さん負担の少ない検査は積極的に導入しております。これからも地域の子供たちが心身ともに元気で過ごせるように尽力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、亀田総合病院の諸先生方には開業以来大変お世話になり本当にありがとうございます。この場をお借りして心より御礼を申し上げます。



当院診療科より

眼科

部長 杉本 宏一郎



杉本宏一郎部長（一番左）と眼科スタッフ

2024年4月から眼科部長を拝命しました杉本宏一郎と申します。昨年度は一時期、医師数の減少によりご紹介をお断りすることもあり、地域の患者さま、医療機関の方々にはご迷惑をおかけしました。眼科は2024年4月現在、9名の眼科医師が常勤として診療にあたっており、少しずつ体制を整えています。

私はこれまで、東京大学病院、旭中央病院などで網膜硝子体手術、難治性白内障手術、緑内障手術などを経験してきました。今後は、質の高い医療の提供を目指して地域に貢献できればと思っています。当院では特に手術に力を入れており、難症例を含む様々な白内障、網膜剥離・黄斑前膜・増殖性糖尿病網膜症などを含む網膜硝子体疾患、眼瞼下垂・眼瞼内反などを含む眼瞼疾患、緑内障に関しては大学病院と遜色のないレベルの治療を行っています。また、角膜、ぶどう膜、斜視、神経眼科に関しては必要に応じて大学病院などと連携を取りながら治療を行っています。手術症例はもちろん、何かお困りの症例がございましたらいつでもご紹介いただければと思います。

外来診療

亀田クリニックでの外来診療は月曜日から金曜日まで午前9時から午後5時まで最大5診体制で行っています。土曜日は第3土曜日を除き、午前中のみ診療となっています。また、2つの専門外来があり、月曜日午後1時に眼窩外科外来、水曜日午前11時に緑内障外来を行っています。現在、外来が非常に混雑しており待ち時間が発生しています。ご紹介いただく際は、そのことを申し添えていただけますと

助かります。また、状態が落ち着いた患者さまにつきましては、ぜひ逆紹介をお受けいただけますと助かります。

そのほか、総合周産期母子医療センターでの未熟児網膜症の診察、健康管理センター（人間ドック）での眼科所見の判定も眼科医員が対応しています。

手術

手術は月曜日から木曜日の午前・午後11時に亀田クリニックの手術センターにて行っています。白内障手術、緑内障手術、網膜硝子体手術、外眼部手術まで対応可能です。眼科の手術室は2室あり、緊急手術も快く引き受ける体制が整っています。

当院の重要な役割として緊急疾患対応が挙げられます。極力お引き受けするように努めますが、現在は執刀医が1人しかおらず、ご紹介の際はまずはお電話いただけますと助かります。

スタッフ紹介

9名の常勤医師と5人の非常勤医師、6人の視能訓練士、その他、看護師、看護助手のチームで眼科外来を運営しています。全国的に見ても大規模な眼科診療部です。

亀田総合病院眼科医局の特徴は様々な医局や病院で研修を積んだ個性あふれる面々で構成されている点です。医局の雰囲気は非常に良好で、切磋琢磨しながら日々診療に当たっています。

2024年4月から新体制としてスタート以来、試行錯誤することが様々あります。効率のよい診療の整備、医局員・スタッフの働きやすい環境の整備、地域の先生方との医療連携など考えれば考えるほどやることは尽きないですが、いずれも地域医療の発展の一助になればと思っています。末筆になりますが、地域医療機関さまにおかれましては今後も当科との医療連携をどうぞよろしくお願いしたいと思います。

ご連絡をいただきたい症例 (緊急手術を必要とする)

眼内炎、眼外傷、緑内障発作
緊急を要する網膜剥離 など

亀田クリニック 04-7099-2211(代)

お電話の際に「**眼科の緊急手術が必要な症例**」とお伝えください。外来スタッフを通して担当医師におつなぎします。

対応可能な疾患

白内障、緑内障、黄斑前膜、黄斑円孔、増殖性硝子体網膜症、増殖性糖尿病網膜症、待機的手術可能な網膜剥離、翼状片、眼瞼疾患など

専門医不在の疾患

ぶどう膜炎、視神経炎、加齢性黄斑変性、急性膿炎など

対応が困難な疾患

涙道疾患、斜視、弱視など

亀田総合病院の 災害への取り組み

地域・他業種との連携

災害対策調整室 小倉 健一

宮崎県日向灘沖で発生した地震により被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

【災害時の課題】

災害が発生した場合、様々なところで建物被害や職員数の減少、ライフライン^{*1}の供給停止または縮小などによりサービス提供能力が低下します。しかし、医療機関、介護・福祉施設は、災害発生後や感染症が流行した場合でも、安定的・継続的に医療・ケアサービスを提供することが重要となるため、事業継続計画（以下、BCP）を策定し医療・ケアサービスの低下を抑制するように努めています。安房地域は房総半島の南端となるため、他地域に比べライフラインの復旧が遅延する可能性があることや、高齢者人口割合が高く、災害時要配慮者^{*2}への対応に大きな課題を抱えています。一方、地域内の医療、介護・福祉のリソースが限られているため、平時より災害時を見据えた医療・介護・福祉の連携が重要となります。

【災害時を見据えた地域連携の取り組み】

鴨川市では、台風上陸などの影響で停電が発生し、酸素療法や人工呼吸器を利用している在宅患者の対応に苦慮することが度々あったことから、2015年より鴨川市災害医療検討会議（現在は、鴨川市災害医療福祉検討会議に名称変更）を開催し、災害時での課題について検討をしています。以下はこれまでおこなった主な検討内容となります。

- ①DIG^{*3}（災害時要支援者 避難誘導マップの作成）
- ②避難所運営に関する検討としてHUG（避難所運営ゲーム）、旧主基小学校体育館での避難所開設シミュレーション、防災倉庫の物品確認をおこない課題の抽出
- ③DIG（ハザードマップをもとに地域の医療・福祉の問題点を抽出し、課題を検討）
- ④鴨川市健康推進課との災害医療体制の検討
- ⑤医療ケアが必要な避難行動要支援者への対応についての検討
- ⑥台風災害や豪雨災害後の振り返り

また、検討会議だけでなく、合同訓練を実施して連携内容の確認や検証をおこなっています。当初、鴨川市健康推進課、亀田総合病院、鴨川市立国保病院のみでおこなっていましたが、現在では安房保健所、鴨川市福祉課、こども支援課、学校教育課、生涯学習課、危機管理課、ケアマネージャー連絡協議会、市内介護事業所、鴨川消防署など参加する団体も増えてきていま

す。訓練内容も、傷病者の受け入れだけでなく、避難所で負傷者や感染症が発生した場合の対応や福祉避難所への受け入れ要請手続き、在宅避難者の搬送など災害発生数日後に生じる問題への対応についても訓練を通して共有しています。

【今後の取り組み】

地域住民の「いのち」と「健康」、「暮らしを」を守るために、地域の課題を明確にし、医療ケアサービスの維持と災害時に発生する諸問題の対応を限られた地域リソースで対応できるよう地域包括ケアや地域共生社会構築の取り組みを用いた地域BCPの構築にむけて取り組んでいきます。



DIG（災害時要支援者 避難誘導マップの作成）



HUG（避難所運営ゲーム）



DIG（ハザードマップをもとに地域の医療・福祉の問題点を抽出）

※1 ライフライン

生活を維持するのに最低限必要な設備や機能のことをいい、主に電気、ガス、水道、通信、物流などが該当する

※2 災害時要配慮者

高齢者、障害者、妊娠中の方、乳幼児、慢性疾患を抱えている人などで、情報把握、避難、生活手段の確保などの活動が困難になる方

※3 DIG

Disaster Imaging Gameの略。地図を用い参加者自身が書き込みをすることで、災害の危険性を「見える化」し、議論しながら防災対策を考える訓練

Kameda Cup 2024 in Kamogawa

7月7日(日)鴨川市東条海岸 マルキポイントにて医療従事者のためのサーフィン大会「Kameda Cup 2024 in Kamogawa」(主催:Kameda Cup事務局/メインスポンサー:亀田メディカルセンター)が開催されました。

今大会は千葉県を中心に北海道から愛知県まで140名の医療従事者が集まり、各クラス白熱した試合が繰り広げられました。また、競技以外にも鴨川市内のプロサーファー・プロアダプティブサーファーによるエキシビションに加え、ダンスや地元バンド ジャスティンスタッフライブなどのステージイベントや市内の飲食



店の屋台も出店するなど、終日多くの来場者で賑わいました。その他にも、身体に障がいをお持ちの方でもそうでない方も海を身近に感じてもらいたい・楽しんでもらいたいという思いから「みんなの海プロジェクト」として車いすでも砂浜を移動できるような砂浜ロードやパラサーフィン体験を実施し、参加者の皆さまの笑顔が多く見られました。



地域医療
連携室

スタッフひろば

紹介
内容

- ① 部署 職種
- ② 尊敬する人 (好きな人・あこがれの人)
- ③ お気に入りの歌・曲 (癒される・パワーをもらえる)



蔵本 浩一

- ① 診療部 疼痛・緩和ケア科 医師
- ② 館ひろし
- ③ タクシードライバー (中島みゆき)



大川 薫

- ① 診療部 在宅診療科 地域医療支援部 医師
- ② 長谷川平蔵 (火付盗賊改方長官)
- ③ Supernatural (NewJeans)



草薙 洋

- ① 診療部 消化器外科 医師
- ② 藤原定家
- ③ ボヘミアンラプソディー



宮地 康僚

- ① 診療部 腫瘍内科 医師
- ② Larissa Nekhlyudov 医師 (ラリッサ・ネクリュドフ)
- ③ ホルストの組曲 惑星よりジュピター



渡邊 八重子

- ① 看護管理部 看護師
- ② 当院看護部副部長たち
- ③ オルゴールバージョンの癒しの曲



影山 ユウ子

- ① 地域医療連携室 看護師
- ② 好きな馬 🐎 コガネノソラ
- ③ 宙船(TOKIO)



川上 由美

- ① 看護管理部 看護師
- ② 両親
- ③ BTSの曲



吉野 有美子

- ① 総合相談室 看護師
- ② 二葉百合子
- ③ 道(GReeeeN)



安室 修

- ① 薬剤部 薬剤師
- ② 所ジョージ
- ③ 人にやさしく (THE BLUE HEARTS)



鎌田 喜子

- ① 総合相談室 MSW
- ② さだまさし
- ③ アンビバレント(Uru)



児玉 照光

- ① 総合相談室 MSW
- ② 徳川家康
- ③ 情熱大陸(葉加瀬太郎)



長江 弘子

- ① 亀田医療大学 教授
- ② 天海祐希
- ③ その先にあるもの (小田和正)



中村 雅代

- ① 地域医療連携室 事務
- ② トム・クルーズ
- ③ Hero(安室奈美恵)



大橋 洋子

- ① 地域医療連携室 事務
- ② 栗原はるみ
- ③ 久石譲・葉加瀬太郎の曲



末吉 朋美

- ① 地域医療連携室 事務
- ② 車の運転が上手な人
- ③ MISIAの曲



林 裕子

- ① 地域医療連携室 事務
- ② 米倉涼子
- ③ 栄光の架け橋(ゆず)